

今日の政治問題を 規範的かつ経験的に解明

● 私たちが目指すもの

政治学専攻は、人間の共存の技術としての政治を、空間的な広がりや時間的な流れに留意しながら、規範的かつ経験的に研究できる能力を持った研究者の養成とともに、政治的現実に関与し実践を担うことのできる人材の育成を目指している。この理念の下、第一に規範論的な研究を追求し、第二に、こうした規範論を踏まえつつ、具体的な現実政治に即した実証研究を行う。すなわち、政治思想史・政治理論、政治史・政治過程論などのアプローチに複合的に取り組む。

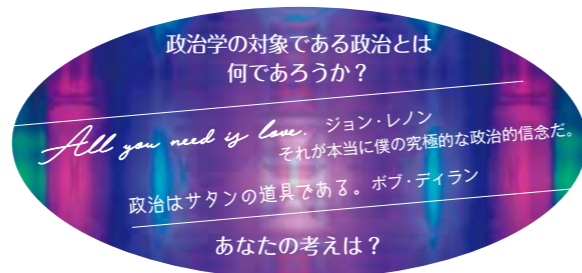
● みなさんへの要望

政治とは何かを自問自答しながら、自らの政治的関心を主体的に探求してください。

本学大学院出身の専任教員

明田川融教授からのメッセージ

私はこの大学院で、何より権力に対する批判精神と、より自由になるための構想力こそ政治学の生命線であることを教わりました。それから四半世紀がたち、研究者となっても、その教えが研究活動の駆動力であることに変わりはありません。



専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
明田川 融 教授	日本政治外交史	米軍基地および日米地位協定をめぐる日米外交史	政治学特殊演習 1/2、 日本政治史研究 1/2
犬塚 元 教授	政治学史、政治思想史	初期近代ヨーロッパの政治思想史	政治思想史研究 1/2
衛藤 幹子 教授	ジェンダー政治、政策研究	女性の政治代表に関する国際比較研究、 ジェンダーと市民社会、ジェンダーと民主主義	ジェンダー政治研究 1/2
木村 正俊 教授	国際政治とその歴史、現代中東政治	中東における国家形成と国際政治システムの形成・変容、 パレスチナ問題	※今年度は、特定の科目を担当しません
新川 敏光 教授	比較政治学	福祉国家再編論・ポスト福祉国家の政治に関する比較研究	※今年度は、特定の科目を担当しません
杉田 敦 教授	政治理論	権力論、デモクラシー論	博士論文演習 II A/B
塚本 元 教授	現代台湾政治、近代中国政治外交史	現代台湾の選挙・中台関係	※今年度は、特定の科目を担当しません
中野 勝郎 教授	アメリカ政治史・思想史	建国期の政治思想、戦後アメリカの保守主義	※今年度は、特定の科目を担当しません
細井 保 教授	政治体制論	政治体制を制度と理念の両面から考察	※今年度は、特定の科目を担当しません
宮崎 伸光 教授	自治体学	自治行政制度・消防行政・自治体議会・自治体政策	※今年度は、特定の科目を担当しません
山口 二郎 教授	政治過程論	現代政治、議会政治、政党政治	政治過程研究 1/2
山本 卓 教授	英国を中心とする福祉国家史、比較福祉国家	英国福祉国家の生成・発展・再編、福祉国家の国際比較	※今年度は、特定の科目を担当しません

[2019年度] ※年度により授業を持たない場合があります。

研究室紹介

宮崎 伸光 教授

自治行政制度・自治体政策・
消防行政・自治体議会

自治体を公共政策課題解決
装置と把握し考究
地域社会の現実から理論や
制度を考える



ヒトは独りでは生命を維持し得ず、必ず社会を構成する。自治体の契機は、その領域性の断面に現れる。私はそう理解するが、かような考察を起点に置くだけで「通説」や「常識」と呼ばれる轍を外れる。「多数説」を学習することは大切だが、研究はより自由であって良い。ただし、目的および手段を誤ってはいけぬ。短期的利得の追求に身をやつした近年の世情の下で、地域社会には生活に関わる数多くの深刻な問題が発生した。せめて風潮に距離を置き、奥深い難問の真相究明に迫りたい。そうした問題意識を持って幅広い観点から公共政策課題への接近を試みている。

※本専攻には、このほかにジェンダー政治や政治過程論などのさまざまな分野を扱う研究室があります。

学生・修了生の声

谷本 純一

博士後期課程 2008年度修了 / 福岡教育大学 教育学部 講師

「知識人」と「エリート」との
関係について分析し、
こうした概念そのものを
止揚することの必要性を探究



私の研究

私の大学院博士後期課程における研究テーマは、「知識人」と「エリート」との関係について分析することでした。大衆社会状況における伝統的な「知識人」や「エリート」への不信感が高まる中、アントニオ・グラムシの思想を中心に両概念を分析し直し、大衆と「知識人」や「エリート」を単に対置するのではなく、こうした概念そのものを弁証法的に止揚することの必要性を論じました。

大学院の魅力

大学院の魅力とは、一言でいえば「深い探究」です。学部において自らが関心を持ったテーマを、さらに深めることができます。しかしそれだけに、自発的な研究活動が求められ、研究目標をその都度達成していくという態度が必要です。先生方も、有能かつ経験豊富な方々であり、指導教員が否かを問わず、研究の意志のある人には多くの援助を惜みず、指導いただけます。

研究テーマ 政治思想史、知識人論

修士課程

政治学特殊演習 1/2(各2)
政治理論研究 1/2(各2)
政治理論演習 1/2(各2)
政治制度研究 1/2(各2)
行政学研究(2)
政治史研究 1/2(各2)
日本政治史研究 1/2(各2)
政治思想史研究 1/2(各2)
政治思想史演習 1/2(各2)
公共哲学研究 1/2(各2)
コミュニティ論研究 1/2(各2)
フェミニズム研究 1/2(各2)
マスコミ研究 1/2(各2)
公共政策研究 1/2(各2)
国際刑事裁判研究 1/2(各2)
政治過程研究 1/2(各2)
行政理論研究 1/2(各2)
政策学研究 1/2(各2)
都市思想史 1/2(各2)
権力論(2)
政治と科学技術(2)
政治権力論(2)
比較政治論 1/2(各2)
連帯社会とサードセクター(4)
立法学研究 1/2(各2)
公共事業研究 1/2(各2)
自治体研究 1/2(各2)
行政改革研究(2)
自治制度研究(2)
公務員制度研究(2)
都市政策特別セミナー 1/2(各2)
高齢社会の政治と政策 1/2(各2)
雇用・労働政策研究(2)
政策法務論(2)
防災危機管理研究(2)
市民自治と憲法(2)
情報政策研究(2)
ジェンダー政治研究 1/2(各2)
自治体福祉政策論(2)
自治体議会論(2)
NPO論 1/2(各2)
市民社会論(2)
シンクタンク論(2)
公共政策と非営利セクター(2)
社会運動論(2)
国際NGO概論(2)
国際政治の基礎理論 1/2(各2)
Asian and Global Politics(2)
国際政治理論研究 1/2(各2)
国際開発政策研究 1/2(各2)
国際政治史研究 1/2(各2)
政治体制論研究 1/2(各2)
外交政策研究 1/2(各2)
国際地域研究 1/2(各2)
東アジア政治研究基礎 1/2(各2)
アメリカ政治研究 1/2(各2)
アメリカ外交研究 1/2(各2)
日中関係政策論 1/2(各2)
平和軍事研究 1/2(各2)
国連・平和構築研究 1/2(各2)
自治体国際政策研究 1/2(各2)
安全保障政策研究(2)
国際情報論1(開発とメディア)(2)
国際情報論2(援助とメディア)(2)
国際情勢分析論 1/2(各2)
国際行政研究 1/2(各2)

博士後期課程

博士論文演習 I A・B/II A・B/III A・B(各2)
政治学特別講義 1/2(各2)
国際政治特別講義 1/2(各2)

[2019年度] ※開講科目は年度により異なります。() = 単位数